

令和 8 年 1 月 26 日

お客様各位

益田信用組合

当座勘定規定改定のお知らせ

平素はお引き立てを賜り御礼申し上げます。

当組合では「手形・小切手の全面的な電子化」に向け、「当座預金払戻帳」の取扱いを開始し、これに伴う「当座預金規定」を一部改訂いたします。

記

1. 改定日

令和 8 年 4 月 1 日（水）

2. 改定の対象となる規定

当座勘定規定

3. 主な改定内容

当座勘定の払い戻し方法に、当座預金払戻請求書の使用を追加

4. 当座預金払戻帳（当座預金払戻請求書）について

令和 8 年 4 月 1 日より、小切手に代わり、当座預金の払い戻しに使用するため「当座預金払戻帳」（1 冊につき当座預金払戻請求書 100 枚綴り）の取扱いを開始いたします。なお、発行には当組合所定の手数料（1 冊 1,100 円）をいただきます。

- ① 当座預金の払い戻しには、「当座預金払戻帳」を使用してください。
- ② 「当座預金払戻請求書」の太枠内（日付・口座番号・おなまえ（お届けの署名盤）・金額（金額の頭部に ¥ をお付けください）を必ずご記入ください。
- ③ 金額、おなまえ（署名盤）を誤記された場合は、訂正しないで新しい「当座預金払戻請求書」を使用してください。
- ④ 「当座預金払戻請求書」は、取引店でのみ使用できます。
また、使用は本人限りとし、他者への交付・譲渡・貸与はできません。

5. 未使用手形・小切手の返却および「当座預金払戻帳」の交付について

未使用手形・小切手とお客さま控えは切り離さずに、手形・小切手帳と共に「未使用手形・小切手用紙返却届」をご提出ください。

なお、お手持ちの未使用手形・小切手帳をご返却いただいたお客さまには、「当座預金払戻

帳」を1口座につき1冊無償でお渡しします。手続きは令和8年4月1日より取引店にお申し込みください。

以上

当座勘定規定 新旧対照表

改定後	改定前
<p>第7条（手形、小切手の支払<u>等</u>）</p> <p>(1) 小切手が支払のために呈示された場合、または手形が呈示期間内に支払のため呈示された場合には、当座勘定から支払います。</p> <p>(2) 前項の支払にあたっては、手形または小切手の振出しの事実の有無等を確認すること（その旨について書面の交付を求めることを含みます）があります。</p> <p>(3) 当座勘定の払戻しは、<u>次のいずれかの方法で行って</u>ください。</p> <p><u>A 届出または登録の印章により、当組合所定の払戻請求書に記名押印して提出する方法。</u></p> <p><u>B 小切手を使用する方法。</u></p> <p><u>(4) 前項の払戻しに払戻請求書を使用する場合には、当該当座勘定の払戻しを受けることについて正当な権限を有することを確認するための本人確認等の手続を求めることがあります。この場合、当組合が必要と認めるときは、この確認ができるまでは払戻しを行わないことがあります。</u></p> <p>第8条（手形、小切手用紙<u>等</u>）</p> <p>(1) 当組合を支払人とする小切手または当店を支払場所とする約束手形を振出す場合には、当組合が交付した用紙を使用してください。</p> <p>(2) 当店を支払場所とする為替手形を引受ける場合には、預金業務を営む金融機関の交付した手形用紙であることを確認してください。</p> <p>(3) 前2項以外の手形または小切手については、当組合はその支払をしません。</p> <p>(4) 当座勘定から支払をした手形または小切手のうちに、本人が振出したものではないものや改ざんが疑われるものがあった場合には、直ちに当組合宛に連絡してください。</p> <p>(5) 手形用紙、小切手用紙、<u>払戻請求書の交付</u>請求があった場合には、必要と認められる枚数を実費で交付します。</p> <p>(6) 当座勘定から支払をした手形または小切手の用紙はその支払日から3か月を経過した場合は返却を求めることができないものとします。</p> <p>(7) 前項の期間を経過した場合において、本人から請求があったときは、当組合所定</p>	<p>第7条（手形、小切手の支払）</p> <p>(1) 小切手が支払のために呈示された場合、または手形が呈示期間内に支払のため呈示された場合には、当座勘定から支払います。</p> <p>(2) 前項の支払にあたっては、手形または小切手の振出しの事実の有無等を確認すること（その旨について書面の交付を求めることを含みます）があります。</p> <p>(3) 当座勘定の払戻し<u>の場合には</u>、<u>小切手を使用し</u>てください。</p> <p>第8条（手形、小切手用紙）</p> <p>(1) 当組合を支払人とする小切手または当店を支払場所とする約束手形を振出す場合には、当組合が交付した用紙を使用してください。</p> <p>(2) 当店を支払場所とする為替手形を引受ける場合には、預金業務を営む金融機関の交付した手形用紙であることを確認してください。</p> <p>(3) 前2項以外の手形または小切手については、当組合はその支払をしません。</p> <p>(4) 当座勘定から支払をした手形または小切手のうちに、本人が振出したものではないものや改ざんが疑われるものがあった場合には、直ちに当組合宛に連絡してください。</p> <p>(5) 手形用紙、小切手用紙の請求があった場合には、必要と認められる枚数を実費で交付します。</p> <p>(6) 当座勘定から支払をした手形または小切手の用紙はその支払日から3か月を経過した場合は返却を求めることができないものとします。</p> <p>(7) 前項の期間を経過した場合において、本人から請求があったときは、当組合所定</p>

改定後	改定前
<p>の手續きによって当該手形または小切手の写しを交付します。ただし、当組合が定める写しの保管期限を経過した場合は、その限りではありません。</p> <p>第 12 条（手数料等の引落し）</p> <p>(1) 当組合が受取るべき貸付金利息、割引料、手数料、保証料、立替費用、その他これに類する債権が生じた場合には、小切手 <u>または払戻請求書</u> によらず、当座勘定からその金額を引落すことができるものとします。</p> <p>(2) 当座勘定から各種料金等の自動支払をする場合には、当組合所定の手続をしてください。</p> <p>第 13 条（支払保証）</p> <p>小切手の支払保証はしません。</p> <p>第 17 条（印鑑照合等）</p> <p>(1) 手形、小切手、<u>払戻請求書</u> または諸届け書類に使用された印影または署名（電磁的記録により当組合に画像として送信されるものを含みます）を、届出の印鑑（または署名鑑）と相当の注意をもって照合し、相違ないものと認めて取扱いましたうへは、その手形、小切手、<u>払戻請求書</u>、諸届け書類につき、偽造、変造その他の事故があっても、そのために生じた損害については、当組合は責任を負いません。</p> <p>(2) 手形、小切手として使用された用紙（電磁的記録により当組合に画像として送信されるものを含みます）を、相当の注意をもって第 8 条の交付用紙であると認めて取扱いましたうへは、その用紙につき模造、変造、流用があっても、そのために生じた損害については、前項と同様とします。</p> <p>(3) この規定および別に定める手形用法、小切手用法に違反したために生じた損害についても、第 1 項と同様とします。</p>	<p>の手續きによって当該手形または小切手の写しを交付します。ただし、当組合が定める写しの保管期限を経過した場合は、その限りではありません。</p> <p>第 12 条（手数料等の引落し）</p> <p>(1) 当組合が受取るべき貸付金利息、割引料、手数料、保証料、立替費用、その他これに類する債権が生じた場合には、小切手によらず、当座勘定からその金額を引落すことができるものとします。</p> <p>(2) 当座勘定から各種料金等の自動支払をする場合には、当組合所定の手続をしてください。</p> <p>第 13 条（支払保証に代わる取扱い）</p> <p>小切手の支払保証はしません。ただし、その請求があるときは、当組合は自己宛小切手を交付し、その金額を当座勘定から引落します。</p> <p>第 17 条（印鑑照合等）</p> <p>(3) 手形、小切手または諸届け書類に使用された印影または署名（電磁的記録により当組合に画像として送信されるものを含みます）を、届出の印鑑（または署名鑑）と相当の注意をもって照合し、相違ないものと認めて取扱いましたうへは、その手形、小切手、諸届け書類につき、偽造、変造その他の事故があっても、そのために生じた損害については、当組合は責任を負いません。</p> <p>(4) 手形、小切手として使用された用紙（電磁的記録により当組合に画像として送信されるものを含みます）を、相当の注意をもって第 8 条の交付用紙であると認めて取扱いましたうへは、その用紙につき模造、変造、流用があっても、そのために生じた損害については、前項と同様とします。</p> <p>(3) この規定および別に定める手形用法、小切手用法に違反したために生じた損害についても、第 1 項と同様とします。</p>